

Salama! 日本では総選挙、アメリカでは大統領選挙、清泉中学校では合唱コンクールや期末考査…3年生は進路関係が本格化するなど、いそがしく過ごされていると思います。気温は夏と比べて下がったとはいえ、体調管理に気を付けて、健康第一で過ごしてください。とにかく、よく寝て、よく食べてくださいね!

今号では、マダガスカル「水」事情について、ご紹介します。

## ●「これがマダガスカルの水問題の現実です」

「これがマダガスカルの水問題の現実です。」と言って見せてもらった写真。依然行われた「水と衛生に関する会議」(OSCEAH = Organization de la Société Civile Eau-Assainissement-Hygiène) …マダガスカルの水や衛生の現状を共有し、解決方法(行動目標や具体的な行動内容、行動主体、取り組みの期限など)を考えるための会議で、私も参加させていただきました。会議では次のデータが共有されました。



- ・マダガスカルの76%の人は、未だに清潔でない水を飲んでいる。
- ・10%の人々は、整備されたインフラ(トイレを含む)を使用しているが、90%の人々は衛生的でないインフラを使っている(または、インフラがない。)
- ・RFF(Rano Fanadiovana ary Fidiovana=水の衛生)に充てられる政府の資金は2%である。
- ・RFFに関しては、基本的人権が守られていない状況である。

私の暮らしている家は、JICAの安全基準を満たした家なので、一応水道があり、蛇口をひねれば水を得ることができます。ただし、非常に断水が多く、先日は9日間連続で断水。水が出たとしても、見た目は「なんとなく白く濁って」おり、時には「鉄の臭い」がしたり、「茶色い水」が出たりすることもあります。そのため、JICAから支給された「濾過器」を使い、「飲料水」など口に含んだり体内に取り入れたりするものに関しては、「濾過」をし、さらに「煮沸」が必要になります。

地域の人々は、家に水道がないことが多いので「共同水場」まで行って、毎日水を汲みにいかなくてはなりません。洗濯も「共同洗濯所」で、手洗いで行う人も多いです。

職場近くの共同水場



先日、自宅の蛇口から出た「水」! コーラじゃないよ!

その他、「水の問題」に関しては、自然災害などにより、洪水もあれば、干ばつもあります。国連広報センターが作成した動画「マダガスカル 気候変動と移住」を、ぜひ見てみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=NDsgbpjUyIs>

「水道の水をそのまま飲める」国は、日本を入れてたったの

12か国って知っていましたか? それでも海外からペットボトル入りの「ミネラルウォーター」を大量に輸入する日本の生活、なんだかなあ、と思う今日この頃です。



JICA から支給されている濾過機



動画「気候変動と移住」の一場面

## ●マダガスカル語講座!

ひとくちメモ Manahoana? Salama! の後に

交わす一言。あいさつは「こんにちは」だけでは終わらない。天気や、仕事や、家族や、買い物のことや…いろんなことを話します。コミュニケーションは大事ですね!

ブログもぜひ見てください! 「まちょの宅急便 de マダガスカル」

<http://machomadagascar.exblog.jp/>

インナニ ヴァオヴァオ

Inona ny vaovao? 最近どうよ?

